



曹洞宗 源溪山長安寺 寺報〔N0.261〕

“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和7年8月②
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



◆ひとつの声から平和を創り上げる

本年は、広島・長崎への原爆投下から80年です。当山の近所にも広島への原爆で親族を亡くされたお宅があります。

写真はJR東海道本線大船駅（神奈川県鎌倉市）のすぐ目の前にある大船観音寺の白衣観音像です。



私事ですが、子供の頃に母の里（世田谷）へ行くときには、いつも寝台列車出雲号を利用していました。

揺れる列車の中で一晩を過ごし、夜明けとともに起きだし外を見ていると、高さ25メートルのまっ白のこの御像が目飛び込んできました。

この御像があるのは仏海山大船観音寺という曹洞宗寺院です。発願は戦前ですが、戦没者や原爆犠牲者の慰霊、そして平和への願いが込められ昭和35年に入仏落慶法要が営まれました。

6日、広島市で平和記念式典が行われました。こども代表の平和への誓い「One voice. たとえ一つの声でも変化をもたらすことができるはず」も読み上げられました。

宣言は、「いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が

事実を知る必要があります。」で始まりました。

末尾の言葉は次の通りでした。

「One voice. たとえ一つの声でも、学んだ事実
に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができ
るはずです。大人だけでなく、こどもである私たち
も平和のために行動することができます。あの日の
出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さない
ために、私たちが、被爆者の方々の思いを語り継
ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げて
いきます。」

広島の人でなくても、もちろん子供でなくてもこ
のことは変わらないことです。

今もあちこちで戦争が起きています。大切な人を
失い、生きることに絶望している人々がたくさんいま
す。人類のひとりひとりが互いに互いのことを深く
想うならば、この世界に殺し合いなどという馬鹿げ
たことが起こるはずはありません。

広島・長崎の原爆忌、また終戦記念日も間近で
す。すべての命を「南無観世音大菩薩」と礼拝し、
平和を祈りましょう。

広島平和公園にある
「平和の鐘」。

鐘には国境のない地
図が描かれています。
龍頭は、平和の象徴で
ある鳩です。

修学旅行生が必ず寄り、説明を受ける場所です。

